

「キャンプ場の使い方」(テント泊・炊事 団体へ)

- ※1 食中毒防止のため ①食材の持ち込みはできません。
②残った食材は時間が経ったら使わない。
③食事の残りは、時間が経ったら食べない。
- ※2 財布等貴重品の管理は、各団体・個人でお願いします。(艇庫にコインロッカーあり)

1 ゴミ処理

※ゴミ袋の購入は、レストランちゅうらうみへ (098-987-2102)

(1) 下記に従って分別し、渡嘉敷村のゴミ袋に入れ、職員が確認後、ゴミ置き場へ置いてください。(駐車場出入り口左側)

(2) 分別処理の仕方(種類ごとに別の袋へ分けて入れる)

(燃やすゴミ)

①燃やすゴミ

紙類、持ち込み段ボール(ちぎって)、割り箸、弁当、プラスチック、ビニール等、工作後のペットボトル

(燃やさないゴミ・資源ゴミ) ①～③は袋を別に

①空き缶(スチール、アルミ一緒)

②ペットボトル(キャップ、ラベルは燃やすごみへ)

③ビン

(残飯)

レストランちゅうらうみのポリバケツに入れる。

※ レストランちゅうらうみが持ってきた段ボールは、ちゅうらうみが持って行きます。
(弁当入れの四角い容器や残飯と一緒に置いておく)

カラスがゴミ袋を狙っています。「食器倉庫」に一時保管を

2 炊事・キャンプファイヤーでの薪の燃え残りの処理

- (1) スコップで一輪車に乗せ、炭置き場(ゴミ置き場横)に置き、水をかけて消火する。(レンガに水をかけると割れるので)。
- (2) ほうきで細かい灰をとる。
- (3) キャンプファイヤーで出た燃え残りも、一輪車で炭置き場へ置く。

3 食器・鍋類の片付け及び炊事場の掃除について

- (1) 使った食器類は布巾などで拭き、完全に乾燥させて倉庫へ入れてください。
- (2) 鍋類は、煤(すす)をしっかりと落としてください。
- (3) 炊事場は、ふたを開けて野菜くずなどを取り除いてください。

※ ふたは、かぶせずに横に置いてください。

※ 洗剤、クレンザー、ふきん、スポンジは各団体で持参お願いします。

※ 鍋・食器類は、職員の点検を受けてから倉庫へ戻してください。

4 テーブル・ベンチの使用について

- (1) 自由に使って良いが、2団体以上使用希望の時は数を調整し、分け合って使う。
- (2) 使用後は、炊事場の中(雨が当たらない場所)に片付ける。

↓ 裏へ

5 避難小屋（あざみ等）の使用について

- (1) 大雨等の緊急時に使用する。**（職員へ使用許可を得て入る）**
- (2) 特別に使用したいときは、事前に職員と調整する。ただし、使用中も、(1)が優先する。
- (3) あざみ内の備品は、許可を得て使う。
- (4) 使用後は、**清掃と戸締まり、消灯、扇風機の電源OFF**を確実に行う。

6 活動場所の清掃について

使った場所（テントサイト、炊事場等、トイレ・シャワー・更衣室等、ビーチ休憩所）は退村時に清掃する。（ゴミ拾い、砂流し、便器磨き、**女子トイレ汚物処理**など）

7 その他諸注意

- (1) 標準生活時間 **（23時就寝）** を守ってください。
※他団体の迷惑にならないよう活動をしてください。
※特に、夜間、大きい音を出さない。
- (2) 海洋研修活動後（16時以降）、**海への入水はできません。**
※複数による海岸散歩は可（夜間は安全確保のため不可）。岩場不可。
児童生徒の場合は、**大人の方が付き添ってください。**
- (3) キャンプ場や砂浜での花火やたき火はできません。
- (4) **入村後は勝手に施設外へは出られません。**（夜間は閉門します）
※特別な用事があれば、職員へ連絡ください。
- (5) テントの使用について
 - ①テント内で**飲食はできません。**
 - ②テント内で**火を使わない**でください（蚊取り線香類も不可）。
 - ③テント内を**ぬらさない**でください。
 - ・水泳後の着替えは、施設の更衣室でお願いします
 - ・ぬれたものをテント内に干さない
 - ④テントを離れるときは、入り口を閉めてください。
（カラスが荷物を狙っています）
- ※ **（6）飲酒について・・・研修中、日中は不可です！**
※研修施設のため**夕食（炊事やBBQ時）を取りながらの飲酒はできません。**
 - ①プログラム調整時に「飲酒希望」を伝えておくようお願いします。
 - ②**次の日の研修に差し支えないよう**たしなむ程度の量で飲酒を。
 - ③**持ち込みはできません。**酒、つまみ類は、レストランちゅうらうみで購入を。
 - ④飲酒の開始は、夜の研修終了後（21時以降）でお願いします。
 - ⑤飲酒場所は、**炊事場付近**でお願いします。
- (7) カラスとハブに注意して・・・
カラスは、おいしい物がないか物色します。また、ビニール袋ごと持ち去ることもあります。屋外に荷物を置きっぱなしは要注意。
ハブは、ハブ返し堀により侵入できませんが、念のため、**茂みには近づかないように。**

8 緊急時の連絡

- (1) キャンプ場（海洋研修場）携帯電話 090-4470-5755
- (2) 本館電話 098-987-2306・07・08（17:15以降は2308のみ）